



しいの実 たんぽぽみす

クラスナリ

2025.12.26

円町まごね育保園

クリスマスおめでとう

12月はクリスマス制作でツリーを作りました。制作を始める前にお散歩へ行ってドングリやオウムモックリなどを拾いに行きます。妙心寺に小さなオウムモックリが落ちていて子どもたちを見つける度は「あ、た」とうれしそうに拾っていました。制作では、まずツリーの形の画用紙に筆や手でぬいたりをしてみたり色をぬります。描画をくり返しペンや筆を持って描いていたので筆を持つことも上手になっています。小さい月齢の子どももぬいたりで絵の具に触れ色が付くことを楽しんでいました。次にツリーに集めた自然物を選んで貼り、飾りつけをしていきました。ドングリにも細長いものや大きいもの、ドングリの帽子などさまざまな種類があり、目の前に置いてある自然物に興味津々の子どもたち。両手でダイナミックに角まる子どももいれば、指先を使いつづつ角まる子ども、しゃくらくはじーと何があるかを観察するように見ている子どもと様々な姿がありました。飾り方もドングリばかりを選んで次々に飾っていく子ども、ドングリの帽子にドングリを入れたり、自然物を重ねて飾る子ども、一番近くに置く自然物に手を伸ばして飾っていく子どもなど同じ素材を使っていたり一人ひとり違った個性的なツリーになりました。完成したツリーを子どもたちに見せると自分の顔写真も付いていたこともあります。いに、と笑顔でうれしそうに見ています。

えほんだいすき

絵本が大好きなしいの実組の子どもたち。保育者が絵本を持って読みますとキャラクターの笑顔が離れた場所にいても自然と集まってきた。絵本を見ている間も絵や譜のやりとりを見て声を出して笑う姿もあります。最近特に「あつあつ」という絵本が子どもたちに大人気です。「あつあつあらちゃんたま」というやりとりでみんなが「あらちゃんたま」と首をかげる姿が可と可愛らしく保育者も楽しんでいます。絵本が終わって片付けようとすると怒って「もっとみたい!」と主張する子どもも、お部屋あそびの中でも絵本を手に取ってあそぶ姿がとても多く、保育者に「よんざー」と持ってきてています。手に取ってあそぶ姿がとても多く、保育者に「よんざー」と持ってきています。全体で絵本を見るだけでなく、保育者のひざの上に座り、ほっこりと絵本時間も楽しんでいます。これからもたくさんの絵本の世界を楽しんでほしいので、今、絵本棚を大切にしています。これからもたくさんの絵本の世界を楽しんでほしいので、今、絵本棚を作製中です。子どもたちは、どんな姿を見せてくるのか...お楽しみに!

初めて保育園生活を経験したしいの実組の子どもたち。入園してからドキドキして涙するもいましたが、保育者や友だちとたくさんあそび、しっかりと食べて眠り、じも身体もたくさん成長を見てくれました。子どもたちの成長と一緒に見守り下さり、ありがとうございました。来年もどうぞよろしくお願ひします。

今年度はありがとうございました。
来年もよろしくお願ひします。

今年も残すところあと数日となりました。
20日はそら、たいよう組がクリスマスの燐火礼拝と聖誕劇をしました。
乳児クラスの子どもたちは、それまでにクリスマスごっこ二の様子を3階の保育室に見に行き、クリスマスの雰囲気を感じることができました。
毎日、寒い日が続き、体調を崩しやすくなっていますが、早起き、早寝をして元気に過ごし、良いお年をお迎えください。来年も元気な子どもたちに会えるのを楽しみにしています。



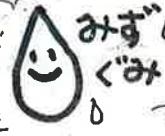
たんぽぽぐみ

今月はクリスマスプレゼント制作や幼稚園クラスの聖誕劇を見に行くなど、クリスマスの雰囲気をたんぽぽぐみなりに感じて過ごしました。聖誕劇では、燐火礼拝でたいようみがろうそくの明かりを持って歩く姿をじっと見ていました。歌を歌うと体を揺らしたり、「ひかひか」と1フレーズを口ずさんでいることもあります。4月から通してお祈りの姿を見てきたからか、今では目をつぶり手を組んでいる姿があそびの中でも見られます。制作では、絵の具やボンドを使いました。手が汚れることで、そちらに意識がいってしまう子どもが多いため、少しすつぬったり、ボンドをちょっとのせるなどの保育者の援助を受けながら完成しました。おうちの人に渡す前に一人ひとりに見せると「〇〇の」と自分で作ったもの、写真を見て笑っていました。

最近は自我もしっかりしてきて、友だちとの思いの違いやおもちゃの取りあいなどが増えてきました。同じ色の同じ形のおもちゃが近くにあるのに、その1つのおもちゃが特別なようです。少しずつ周りが見られるようになり、他のおもちゃがあると取りにいったり、「どうぞ」と貸し、「ありがとうございます」とやりとりをかわす姿も見られるようになりました。しかし、それでも欲しいとパツと取ってしまうことや取り返そうとして手が出てしまうこともあるので、保育者が間に入りながら「貸してって言ってみようか」と一緒に伝えることが大事だと改めて感じます。お互いの思いを受けとめ、どちらも納得が出来ればいいのですが、成長と共に思いも複雑になってきます。1人1人思いも違うので、気持ちに寄り添い、解決していけたらいいなと思います。



先月はインフレエンサが流行し、お休みする子どもが多かったですが、12月は元気に登園し10名前後も多く、賑やかな毎日を過ごすことができました。友だちを意識し、一緒に絵本を見たり、ままごとをしたり、追いかけっこをしたりと遊び方も変わっていました。距離感が近くなってきた分、お互いの思いの違いからもめてしまうこともあります。喧嘩をしても数分後には笑い合っている子どもたちです。すぐに、「ごめんなさい」と終わらせるのではなく、そこに至るまでの気持ちややりとりの過程を大切に今後も見守りたいと思います。



作って食べるって楽しい♪

12月から、おやつが「おにぎりやパンの日には、子どもたちが自分でおにぎりを作ったり、パンにジャムやクリームを塗ったりしています。いつも新しいことに「やりたい!やりたい!」とすぐに集まってきた子どもたちですが、初めての日時は、少しだけ手足しながら様子をうかがう姿も見られました。へうでよく量も様々で、パンからはみ出るほどたっぷり塗る子ども、「これくらいにする」とりなめに塗る子どもと一人ひとりの個性が出てきます。

最初はへうの使い方に苦戦する姿もありましたが、今では「自分でやる!」ことが楽しく、丁寧に塗る姿が見られるようになりました。おにぎりも、平べったい形□やまんまるな形○など、どもがわい素敵です。ラップの上をつまんで「きゅ、きゅ、きゅー」と言いかがう一生懸命握っています。

小さなことでも「できた!」という喜びをたくさん感じている子どもたち。先日は玉ねぎの皮むきにも挑戦しました。これからも給食の手伝いやおにぎり作りを通して「食べること、うれしいよ!」「みんなで作って食べること、うれしいよ!」という気持ちにつながっていけたらと願っています。

年末年始は家族で少しゆったりと過ごせる時間があるかと想います。ぜひお休みの中で「具と一緒に決めておにぎりを作てみたり、野菜のお手伝いをしてもらったりしてみて下さいね。」元気に登園して今年1年ありがとうございました! ★★くまこことを楽しめています。来年もよろしくお願いします。★★

